

## 1 2. 栄春院

(三引町)



高野山真言宗のお寺で長 連龍の母「栄春院殿花溪樹盛大姉」の菩提寺。天正年間越後の上杉謙信の七尾城攻略の際焼失、石動山から来た「玉陽坊勝栄」が再興、承応2年（1653年）に栄春院となる。このお寺の裏庭は、痛みが激しい江戸時代以前の遠州流の庭と言われ、多羅葉の大木があり、石川県下一の大木となっている。この多羅葉の葉っぱは、裏側を棒でなぞると「字」が書けます。

そのため手紙等に重宝されたとも聞きます。